キャラクター名: 古地　悟（ふるじ　さとる）

プレイヤー名:

シンドローム	エンジェルハィロゥ エンジェルハィロゥ	ワークス	傭兵	カヴァー	研究者
オプショナル		年齢	35	性別	男
覚醒	素体	衝動	飢餓	初期侵食率	30 %
出自	天涯孤独	経験	裏切り	邂逅	貸し

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	0	1	1			2
感覚	6	0	1			7
精神	2	0	0			2
社会	0	0	2			2

HP	26
行動値	16
(非装備時)	16
戦闘移動	21
全力移動	42

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	1		射撃	1		ＲＣ			交渉		
回避			知覚	1		意志			調達	4	
運転：	2		芸術：			知識：			情報：軍事	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
大型拳銃	射撃	7r-1		5		

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品	
コネ：傭兵	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
春日恭二	P　感服	N　脅威		
D：光使い	P	N		
龍舞市	P 好奇心	N 疎外感		
霧谷雄吾	P　慕情	N 疎外感		
天野リンネ	P　尊敬	N　嫌悪		
舞阪美羽	P 好奇心	N　恥辱		
	P	N		

最大財産P: 12	残り財産P：

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：	コスト分のHPで復活							
コンセントレイト：エンジェルハイロウ	2	2	シンドローム					
効果：								
光の裁き	1	5	メジャー		単体	対決	ピュアブリード	
効果：	射撃攻撃は判定のダイスを+Ｌｖ×２個し、ドッジを選択することができない。１シナリオに１回だけ使用可能。単体限定							
マスヴィジョン	2	4	メジャー			対決	100%	
効果：	攻撃の攻撃力を+Ｌｖ×5する。1シナリオ3回まで							
小さな塵	3	2	メジャー	武器		対決		
効果：	攻撃力を+Ｌｖ×2する。							
レーザーファン	3	3	メジャー		範囲（選択）	対決		
効果：	エフェクトの対象を範囲（選択）に変更する。同エンゲージにいるキャラクター対象不可。１シナリオLv回数まで使用可							
光の指先	1	2	ﾒｼﾞｬｰ/ﾘｱｸｼｮﾝ				Dロイス	
効果：	組み合わせた判定のダイスを+[Lv+2]個する							
	1							
効果：								
スポットライト	1		メジャー	視界	任意			
効果：	光を屈折させて任意の場所に光源を設置するエフェクト。							
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

D：光使いの追加経験値を入れてあります。
「自己紹介か…。自分語りはあんまり得意じゃないんだがな…。まあいい。
　名前は古地悟。歳は35。エンジェルハイロゥのピュアブリードだ。
コードネームは「白き流星（ホワイトシューター）」。どうやら能力使った際の弾丸が白い流れ星に見えたらしくて、気が付いたらそう呼ばれてた。
　ガキの頃はFHに所属してたが14・5歳くらいだったかな？そのころにとある奴に出会って、そいつと勝負して負けてな、それがきっかけでFHを抜けたんだ。
その時にはどうにも居心地が悪いというか、主義に合わなかったというか。ま、そりが合わなかったんだろうな。特に未練もなくFHを抜けてそのあと友人であるそいつの伝手で一時的にUGNに所属してたんだが、今から10年ほど前にとある事件でその友人が行方不明になってな。噂じゃジャーム化したとか聞いたが、本当のところはわからん。
ジャーム化しちまったら、元に戻せないしな。場合によってはUGNに処分されかねない。友人を探すならUGNに所属してた方がいいんだが、いろいろと気になる情報もあった事から一旦UGNを抜けてフリーの傭兵として動くことにしたんだ。その友人には娘がいてそいつがUGNに所属してるし、そっちはそっちで任せた方がいいだろう。
基本的にFHに所属してたことは一応隠してる。わざわざ言う必要もないし、言って不信感を煽る必要もないしな。
まあ、そうはいってもそこまで隠ぺい工作に力を入れてるわけじゃないからな、調べれば足がつきそうなもんだがな。
戦い方としては適当に銃をぶっぱなす感じだ。まあグレランとか寄こせばまとめて吹き飛ばすことはできるし、レーザーファンによってある程度の範囲なら薙ぎ払える。
火力はそれなりにあるはずだが、ま、どこまでやれるかって感じだな。
こんな感じでいいか？自分語りは普段やらねぇんだよな…。」